

協働研究所設立趣意およびR4Dについて

～メルカリの企業活動が社会にもたらすインパクトを学術的な成果として還元し、あらゆる価値が循環する社会の実現へ～

株式会社メルカリ
R4D Director

多湖 真琴/Makoto Tago



多湖 真琴（たご まこと）

株式会社メルカリ
研究開発組織R4D Director/ 弁理士

京都大学卒業後、開発職として富士通株式会社に勤務。
弁理士資格を取得後、TMI総合法律事務所にて権利化から
係争まで幅広い知財業務を担当。
2018年メルカリに入社後、知財チームの初期メンバー
として知財活動の立ち上げに従事。
2019年よりR4Dを兼務しR4Dのガバナンス強化に尽力。
2023年より現職。

メルカリグループと研究開発組織「R4D」

メルカリグループについて

私たちは「あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる」をミッションに掲げ、個人と社会をエンパワーメントする様々なサービスを提供しています。

Marketplace



mercari

CtoC



Shops

BtoC



mercari Hallo

Work

Fintech



Pay

Payment

mercoin

Crypto asset

Global & Local

MERCARI

US



Sports

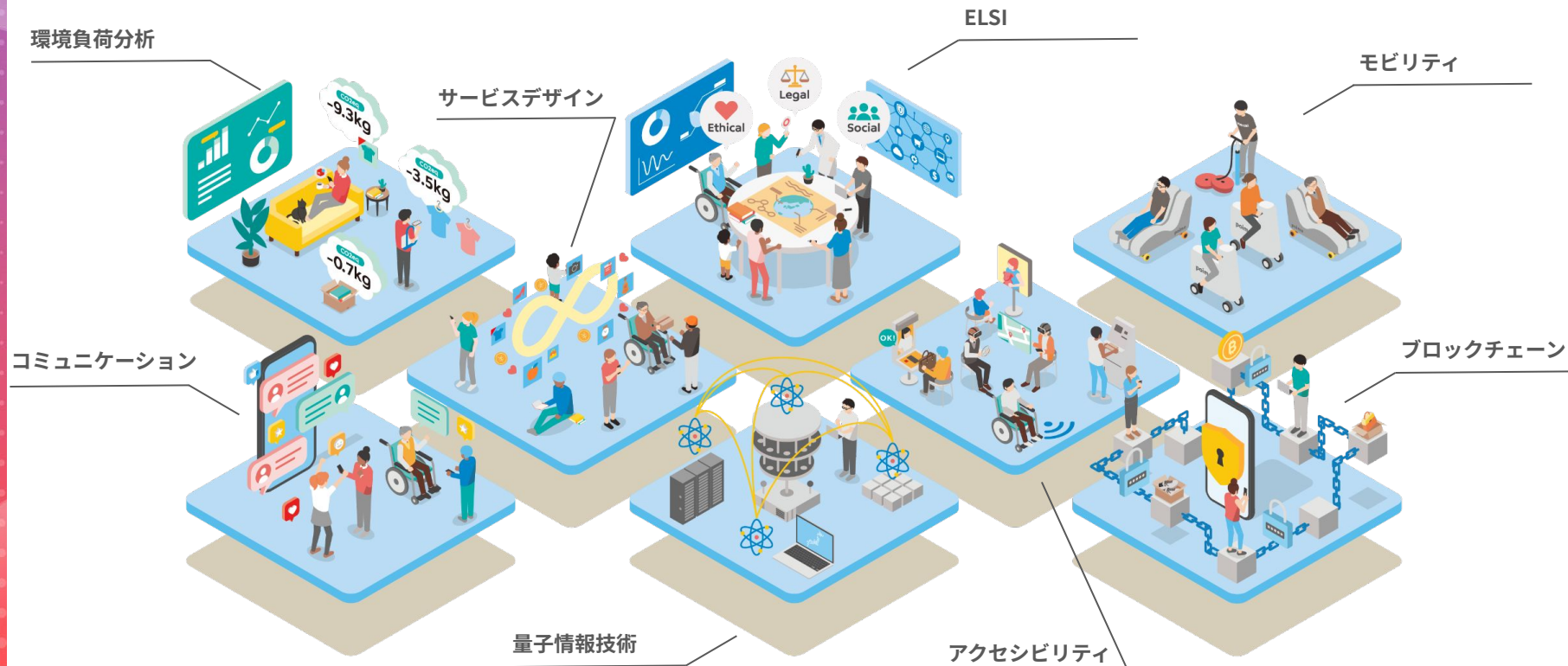
R4D

Research for

[
Design
Development
Deployment
Disruption

研究開発（**R**esearch and **D**evelopment）にとどまらず、
未来の社会に実装される（**D**evelopment）ことを想定したデザイン（**D**esign）を行い、
ときには既存概念や技術を破壊しながら（**D**isruption）、
新しいものを生み出すことを目指した研究を行うという4つの**D**のが込められている

研究およびプロジェクト領域例



R4D Mission

**Pioneering the path
toward undiscovered value**

まだ見ぬ価値を切り拓く

Co-innovationであらゆる価値が循環する社会を目指す

社会課題解決につながる共通目的・目標のもと、コミュニティの枠を超えて、あらたな価値を切り拓く

テーマ発掘から
一緒に

共通目的・目標のもと、研究テーマを探索する段階から共創を行う

多様なメンバーで

単一領域だけでなく、研究領域（人社・自然科学系）やコミュニティ（産学）の枠を超えて協働する

社会課題の解決を
目指す

成果は論文やプロダクトに閉じず、**その先にある社会課題の解決まで射程に見据える**

Co-innovationの推進（領域横断の包括連携事例）

これまでの研究領域、産学、時間軸をも横断した包括連携事例

領域横断の包括連携



東京大学に社会連携講座「価値交換工学」を設置。東大RIISE内で**研究領域を横断して連携**
メルカリ社内のテーマ発掘フェーズから協働

産学連携コンソーシアム



メルカリR4Dラボ・永山が代表。
量子インターネットの実現に必要な**複数レイヤの研究者**が集う、日本初の量子インターネット研究推進団体

まだ見ぬ社会課題の発掘



大阪大学ELSIセンターとの共同研究や社内関連チーム協力のもと、研究が社会実装されたあとに起きうる**まだ顕在化されていない様々な社会課題**に向き合う

Co-innovationが生まれやすい社会の実現に向けて

R4Dのこれまでの取り組み（人への投資）

イノベーションエコシステムの活性化のための、産学の行き来をより柔軟にする仕掛け

社会人博士支援制度



- 職種問わず応募可能
- 学費全額負担（最大年間200万円程度を想定）
- 研究時間と仕事時間を調整可能（時短制度）
- 研究分野不問（**人社系の分野も積極支援**）

リサーチャーの柔軟な雇用形態



2025-5-27

メルカリにおける“ELSI”とは何か？ mercari R4Dと大阪大学ELSIセンターが築いた共同研究の裏側

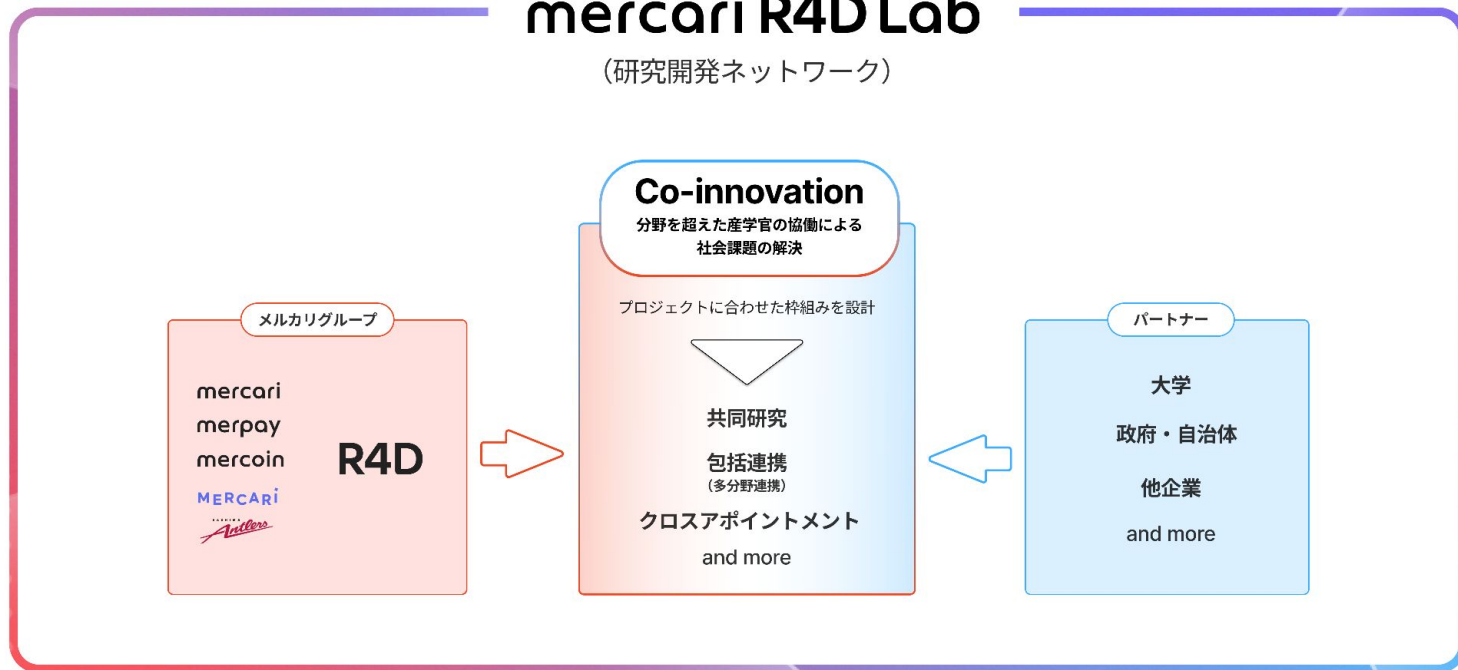
- フルタイム勤務
 - 時短勤務
 - 大学との兼職（≡クロスアポイントメント）
- ※リサーチャーの**柔軟なキャリアパスを支援**

研究開発ネットワーク「メルカリR4Dラボ」

分野や立場を超えた連携（Co-innovation）を加速することで、あらゆる価値が循環し、あらゆる人の可能性が広がる社会の実現を目指す

mercari R4D Lab

（研究開発ネットワーク）



2025年7月「メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所」設立

mercari R4D Lab・大阪大学協働研究所

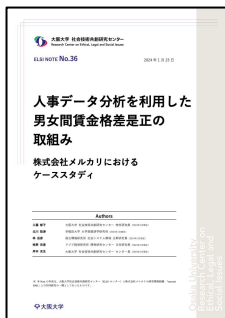
大阪大学ELSIセンターとの取り組み事例

メルカリグループ全体を対象としたELSIの発散的探索

Diversity & Inclusion

2023年、メルカリにて**男女間賃金格差是正**の取り組みを実施
(男女間での説明できない賃金格差を是正)

- ・メルカリのD&I担当者、および経済学やデータサイエンス等の有識者を招いてワークショップを開催
- ・分析に利用されたモデルの詳細や前提となる条件などの論点を明確化した
- ・他社においても実施可能な形となるよう、分析内容をまとめ公開



ELSI note :



Youtube :



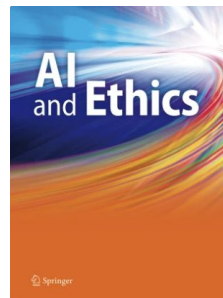
AI Ethics

現場のエンジニア等関係者も加わり、**メルカリに合った独自ガイドラインを策定**

- ・AI倫理ガイドラインの策定

策定の中で議論してきたAI利用に関する価値観や課題に関してまとめた論文が、国際誌「AI and Ethics」に採択

- ・生成AIに関するELSI論点抽出・ガイドライン策定



論文* :



生成AI
ガイドライン :



*A.Katirai & Y.Nagato (2024) "Addressing trade-offs in co-designing principles for ethical AI: perspectives from an industry-academia collaboration", AI and Ethics.

大阪大学ELSIセンターとの取り組み事例

これまでの共同研究の取り組みを概観し発信

実績

ELSIの初学者向けの入門書に、メルカリ・大阪大学の共同研究事例が掲載



『ELSI入門』丸善出版：



- ELSI/RRIをテーマとした産学連携について、大阪大学—メルカリR4Dの具体的な共同研究の事例を概観
- 企業、大学それぞれにとって、**産学連携によるELSI/RRIを主題とした知的生産がもたらす意義**がまとめられた

これまでの取り組みで得た学び(1)

企業活動そのものを研究テーマとして扱える

R4Dの人社研究PJは、単一の専門領域ではなく、複数の研究領域の集合で構成されている。
このような**Co-innovation的アプローチを用いることで**、メルカリの企業活動等、実社会に根ざした複雑なテーマに取り組むことができる

Co-innovation

テーマ発掘から
一緒に

多様な
メンバーで

社会課題解決を
目指す

これまでの取り組みで得た学び(2)

コミュニティ全体で価値が循環する社会をアップデートできる

企業活動等のテーマについて、研究として扱うことで、論文等、他者も引用可能な形式で公開できる。これにより、以下の好循環を生み出し、メルカリの企業活動の信頼を高める礎となる

企業活動を、人文社会科学に根付いた基礎付けと共に実施する

→透明性・Accountability UP



企業活動をテーマとした研究が、論文として査読され、学術的に裏付けられ、公開される

→再現可能性が担保され、**企業活動がより深く理解し認められる**

企業活動そのものが、学術的に論文になり、引用されることで、学術の文脈で広がっていく

→この取組みが**新しい企業スタンダードになる**

mercari R4D Lab・大阪大学協働研究所

人文社会科学の研究を通じ、
メルカリの企業活動が社会にもたらすインパクトを学術的な
成果として還元し、あらゆる価値が循環する社会の実現
を目指す。

あらゆる価値を循環させ、あらゆる人の可能性を広げる

“Circulate all forms of value to unleash the potential in all people”

